

令和8年度 幼保小連携推進事業「授業と保育の相互参観（協議会）」

第1回協議会だより 《北方部》

令和8年6月30日（金）13:15～15:50

【授業と保育の相互参観】

郡山市立明健小学校

～明健小学校授業参観について～

1年生の1組では国語「は・を・へをつかってぶんをつくろう」2組では算数「どれくらいおいかな」の授業を提供していただきました。幼稚園や保育所からの接続を考え、入学当初からグループでの授業を取り入れてきたことで、子どもたちがのびのびと学習に取り組んでいる姿が印象的でした。子ども同士でも教え合う姿、認め合う姿などがたくさん見られ日頃から子どもたちのかかわりを大切にしていることが感じられました。



【協議会内容】

テーマ「幼保小の相互理解と円滑な接続の在り方」について

① 授業参観より

- ・明健小学校の校長先生より、同じ敷地内に小学校と中学校があることから、小・中の交流事業や小学校同士の交流事業、そして1年生がどうスタートカリキュラムを実践してきたかについて伺いました。幼稚園や保育所ではグループで活動していることが多く、4月当初はそれを多く取り入れたことで、安心感を得られたのではないかと子どもたちの表情から感じました。
- ・グループでの活動が多く取り組まれており、その中で子どもたちの教え合いが自然に生まれていました。

② スタートカリキュラムの実践と1年生の学校での様子

- ・小学校に入るにあたっては、文字の書き順などを繰り返し教えるよりも、基本的な生活習慣や友だちに対しての思いやりなどを教えていただけたらと思います。繰り返し教えることで学ぶ意欲が損なわれないようにすることが大切だと感じています。
- ・幼保小間での情報交換がとても大切であり、この時間を使って接続のための情報交換を十分に行いました。



《参加者からのアンケート》

- ・今回の協議会では、授業づくりだけでなく、幼保小・小中のつながりについて多くの学びを得ることができました。
- ・子どもが友達の説明を聞いて、「なるほど！」と言う姿が見られ、学び合いに向かう力を感じました。
- ・幼保小・小中連携では、学習につながるだけでなく、挨拶や生活習慣などの基礎を育てることや、互いに「何を身に付けておいてほしいか」を共有することができました。
- ・情報の交換が大切であること、幼保小の連携の重要性を再確認でき、これからに活かしていきたいと思いました。